



令和5年12月13日

4年生



## 「福祉体験」

12月13日、4年生は総合的な学習の時間の一環として高齢者疑似体験、白杖体験、車いす体験の3つの体験活動を行いました。

これまでは、それぞれの立場の方たちがどのような困り感を抱えているのかなどを「知る」学習を重ねてきましたが、今回は自らが困り感を「感じる」貴重な機会となりました。

高齢者疑似体験では、キットを使い体が思うように動かせない状態を体験しました。「体がうまく動かない。」「ゆっくり歩く高齢者を見て『なぜ?』と思っていたけど体勢が悪いからゆっくり歩くと分かった。」など体験を通して感じていました。

白杖体験では、目隠しをした状態で白杖を頼りに歩く体験をしました。「どこにいるか分からないのはとても怖い。」「サポートしてくれる人の声があるだけで安心感が違う。」などと「見えない世界」をリアルに感じたことでこれまでの学びがより深まったようでした。

車いす体験では、車いすに乗ってみたり、押してみたりする体験をしました。「勢いよく段差を上ろうとすると怖い。」「少しの段差も慎重に進もう。」などと、乗る側の気持ちを体感したからこそ、押す側に必要な心配りに気付くことができました。

この体験学習のために多くの方にご協力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

### ご協力いただいた方々

#### 「高齢者疑似体験」

地域包括支援センター・大田区社会福祉協議会おた地域共生ボランティアセンター  
「白杖体験」障がいサポートセンター

「車いす体験」かたくり福祉用具城南センター、トーカイ品川営業所

